

■ ■ 科目番号	■ ■ 教室	■ ■ 登録人数	■ ■ 履修登録方法
B学共122	[月6]文講201	100	抽選対象
■ ■ 開講年度	■ ■ 期間	■ ■ 曜日時限	■ ■ 開講学部等
2025	後学期	月6	国際地域創造学部国際地域創造学科
■ ■ 講義コード	■ ■ 科目名[英文名]	■ ■ 単位数	
g00055002	日本経済入門	2	
■ ■ 担当教員[ローマ字表記]			
宮田 亮			

■ ■ 授業の形態

講義

■ ■ アクティブラーニング

学生が文献や資料を調べる

■ ■ 授業内容と方法

この授業では、現在の日本経済について様々な視点から学ぶ。
はじめに日本経済の歴史と現状を解説し、
その後、現在特に問題となっているトピックについて詳しく講義する。
各問題に対し、経済学でどのように考えるかを説明する。
授業は概ね、講義形式でおこなう。
2年次移行の経済プログラムでの学習につながるような講義内容にするが、
他プログラムに進学希望の学生も関心が持てるようなものにしたい。
授業は完全に対面で行う予定である。

■ ■ URGCC学習教育目標

地域・国際性、情報リテラシー、問題解決力

■ ■ 達成目標

- 1 現在の日本経済の状況と直面している問題を理解する。（地域・国際性）
- 2 経済学の基礎的な考え方を身に付ける。（問題解決力）
- 3 様々な経済データにアクセスする方法を身に付ける。（情報リテラシー）

■ ■ 評価基準と評価方法

毎回の小テスト（出席を兼ねる）と期末課題に基づいておこなう。
授業内容を理解できたかどうか、また社会・経済問題に対して自分なりに考察する力が身に付いたかどうかで評価する。
定期的におこなう小テスト（40%程度）
期末課題（60%程度）
期末課題は状況により、教室での試験かレポートの提出となる。
出席回数が一定に達しない場合（小テストの提出が少ない場合も含む）単位は認定しない。

■ ■ 履修条件

とくになし。

■ ■ 授業計画

以下の予定で行う予定であるが、都合により順番、内容が変更となる可能性がある。

- 1 ガイダンス
- 2 日本経済の概況
- 3 日本経済の歴史
- 4 財政

- 5 金融
- 6 物価
- 7 社会保障1 医療
- 8 社会保障2 年金
- 9 労働
- 10 株式市場
- 11 対外経済取引（貿易と国際金融）
- 12 家計が直面している問題
- 13 企業が直面している問題
- 14 沖縄の経済
- 15 まとめ
- 16 期末試験

■ 事前学習

次回の授業内容をあらかじめ告知するので、各自事前学習をおこなうこと。
できるだけ新聞などのニュースに触れるようにしてもらいたい。

■ 事後学習

講義スライドなどを用いて、事後学習をおこなうこと。

■ 教科書にかかわる情報

■ 教科書全体備考

教科書は指定しない。
講義スライドをwebclassにアップロードする。

■ 参考書にかかわる情報

参考書	書名	経済財政白書令和5年度版				ISBN	AA11587009	備考	
	著者名	内閣府経済産業研究所							
	出版社		出版年		NCID				

■ 参考書全体備考

授業中に適宜紹介する。

■ 使用言語

日本語

■ メッセージ

経済プログラムへの進学希望者だけでなく、経済に関心のある他のプログラム志望の学生もぜひ受講してください。

■ オフィスアワー

火曜6限
文系学部棟430研究室

■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

URL

なし